



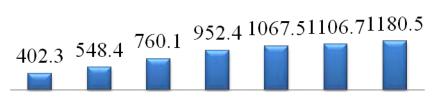
# ウランバートル市における暖房供給 現状と展望

**Gankhuu Tsevelsodnom,** Chief Engineer of Ulaanbaatar city and Head of Investment Department, Municipality of Ulaanbaatar city, Mongolia

## ウランバートル市



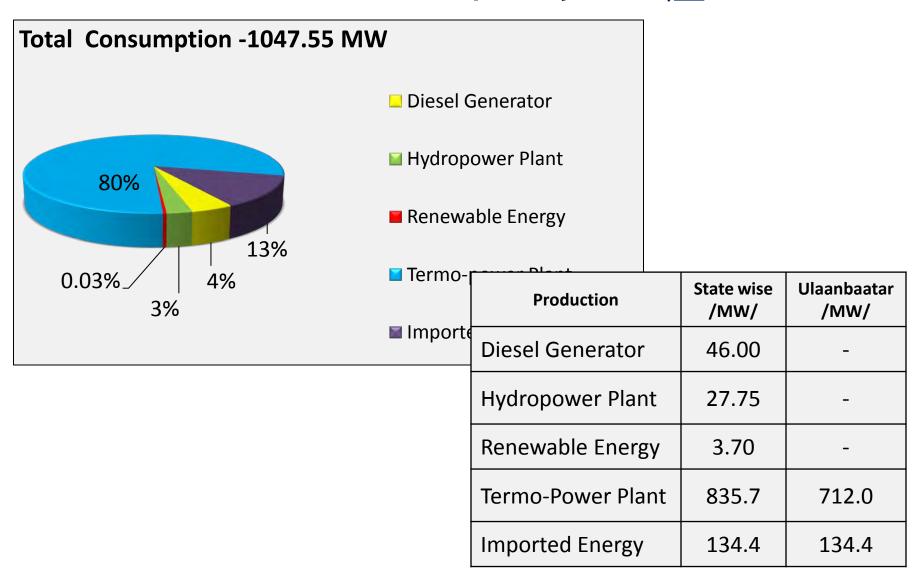
■ 人口(千人)



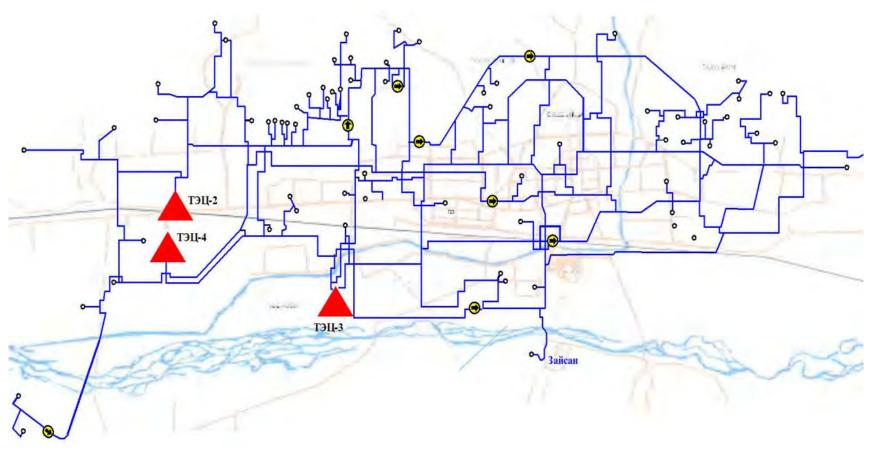
1979 1989 2000 2005 2008 2009 2010

- モンゴルの首都
- 総面積は470,00ヘクタール
- 市街地面積は10,2440 ヘクタール
- 世界一の寒冷都市 (冬の最低気温-40度)
- 長い暖房使用期間 年間8ヶ月
- 暖房使用時期は9月15日に始まり、5月 15日に終る
- モンゴル総人口は270万人、うち110万人 が首都ウランバートルに居住している。
- ウランバールでは40%がアパートに、60% がゲル地域に暮らしている
- 世帯当たりのエネルギー消費コストの内、 60%が暖房、残りが電気である。

### モンゴルのエネルギー生産



### 市のセントラル・ヒーティング・システム



- 3基の火力発電所
- 能力が220/110 KÂ の中継基地
- 能力が35/6, 35/10 KBの中継基地
- 能力が10,6KÂの分配基地

#### 暖房供給の資源



3つの火力発電所(合計能力 1,849.04MW)が4,200以上のビル に電力を供給



1,093台のヒートボイラーが 24,824MWのエネルギーを1,500以 上の施設に供給

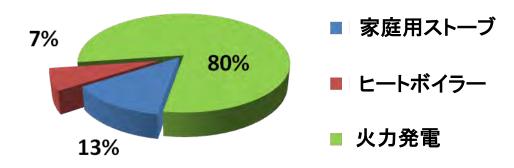


一般的な家庭用ストーブ は46.1MWを145,000世帯 に供給している

#### 火力発電施設の能力

火力発電施設	Capacity /MW/
TPP Nº 4	1090.4
TPP Nº 3	535,92
TPP Nº2	32.48

#### 熱供給内訳



#### ウランバートル市のエネルギー源



石炭

590万トン/年



木材

178,000トン/年 145,000世帯分



練炭

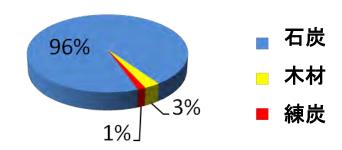
92300トン/年



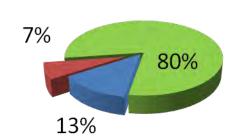
ガス

世帯消費用

#### 全燃料の内訳

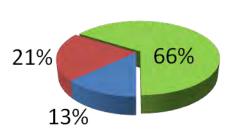


#### エネルギー供給の内訳



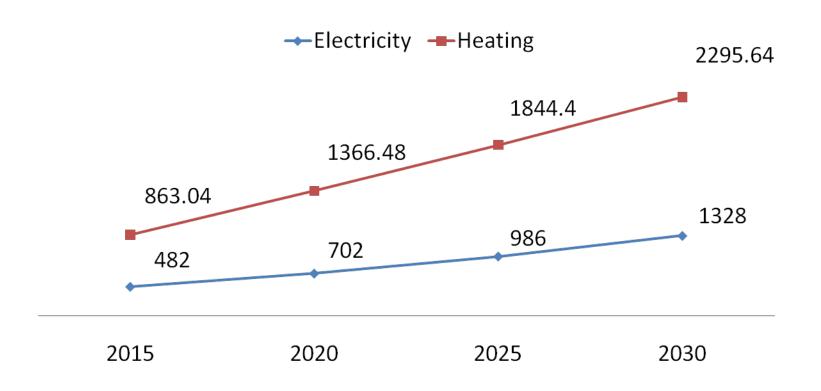
- 一般的なストーブ
- ヒートボイラー
- 火力発電

石炭消費



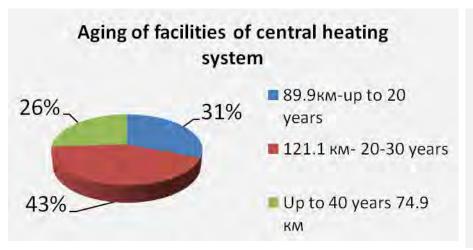
- 家庭ストーブ
- ヒートボイラー
- \_ 火力発電

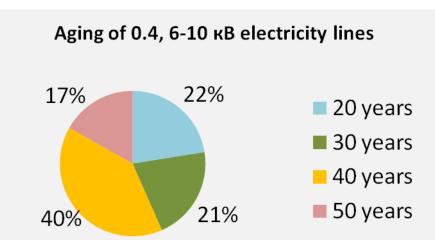
## ウランバートル市のエネルギー消費増加傾向



## エネルギー分野の課題

- ウランバートル市の冬季における大気汚染を軽減するために環境にやさしい 燃料として先進的な石炭改質技術の導入。
- 老朽化し破損した暖房システムを交換もしくはメンテナンスする必要がある。
- 人口増加によるエネルギー需要増加により、既存の能力を拡張する必要がある。
- 暖房供給システムのエネルギー効率を上げる。
- 先進的技術の導入。
- 消費者へのヒートメーターの設置。
- 更なる代替エネルギーに関する研究開発。





## 行動計画

- 郊外ゲル地域へ暖房システムを拡充する。
- インフォーマル・セトルメンツ地域の再開発。
- 増加するエネルギー需要を満たすために、新しい火力発 電所を建設。
- 既存のネットワークの拡充と保守により、セントラル・システムを改良する。
- エネルギーロスを減らすための技術革新。
- 都市近郊や地方の電力供給を改善することにより、都市の人口増加を管理する。

## モンゴルにおけるエネルギー分野のプロジェクト (1990-2010)

全プロジェクト数(終了・継続中): 67

プロジェクト予算合計:5,753,000 米ドル

借款: 3,479,000 米ドル

援助: 2,274,000 米ドル

#### 成功プロジェクト:

配熱ネットワークのエネルギーロスを削減

23,400,000 米ドル(借款) 2004年より

エネルギー効率化プロジェクト

1,875,000 ユーロ 2008年より

パネルビルディングを熱利用できるように修復

200,000 米ドル 2007

## Thank you for your attention!